



カナダ原子力安全委員会（CNSC）が ATMEA1 の安全設計の妥当性を確認

三菱重工業とフランス AREVA 社の合弁会社である ATMEA 社は、同社が開発した最新の第 3 世代プラス原子炉「ATMEA1」の安全設計について、カナダ原子力安全委員会（Canadian Nuclear Safety Commission : CNSC）から、同国の新たな原子力発電プロジェクトに向けた最新の規制要求や期待を全般的に満たしているとする事前設計審査第 1 フェーズの評価結果を受け取りました。

CNSC の事前設計審査は 3 段階あり、フェーズ 1 はカナダの新規原子力発電プラントにおける最新規制への適合性を評価する包括的な審査で、終了すればライセンス申請が可能となります（フェーズ 2 と 3 は主要事項の審査でオプション）。

ATMEA1 は 2012 年にも、フランスの原子力安全局（ASN）からその安全設計の妥当性が評価されていますが、ASN に続き、CNSC から評価されたことは、ATMEA1 が持つ優れた安全性と完成度、さらには高い許認可性を示すものといえます。

CNSC はカナダの原子力安全管理法に基づいて 2000 年に設立された原子力安全規制のための政府の独立組織です。1946 年以降活動してきた原子力管理委員会（AECB）に置き換わる組織となっています。

ATMEA1 は出力 110 万 kW の革新的な加圧水型原子炉（PWR）です。ATMEA 社の親会社である三菱重工と AREVA 社がそれぞれ供給し、約 30 年にわたって世界中で運転されてきた約 130 基の原子炉とその約 3,300 年・炉（運転年数×炉数）の運転経験を活かして開発された原子炉で、ATMEA 社により世界の原子力市場で販売されています。

ATMEA1 については現在、トルコ共和国のシノップ（Sinop）発電所プロジェクトに向けて詰めの交渉が行われているのに加え、ヨルダンでも導入に向けた最終技術選考段階に至っています。また、カナダはもとより、ブラジルやアルゼンチンをはじめとする他の多くの国・地域でも採用が検討されています。

ATMEA ウェブサイト：<http://www.atmea-sas.com>

三菱重工 ウェブサイト：<http://www.mhi.co.jp>

AREVA ウェブサイト：<http://www.aveva.com>

以上